

Rotary



## 八尾ロータリークラブ会報

2018  
vol.58  
No.38

4 / 25

ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

国際ロータリー テーマ

ロータリー:変化をもたらす 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

個性を活かし、参加しよう 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 片山 勉

八尾RCバナーの主旨  
「我々のクラブは、老いも若きも  
相手を敬愛し、和気あいあい、  
楽しいクラブライフを送っている  
ことが誇りであります」

八尾ロータリークラブ テーマ **和の心を持ち、魅力あるクラブライフを** 会長 菅野 茂人

## 第2767回 例会 プログラム

- 開会 「点鐘」
- ロータリーソング 「八尾ロータリー讃歌」
- ゲストの紹介 表千家 南 美鈴 様
- その他の報告
- 会務報告 「会長の時間」「幹事の時間」
- SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓 話 「茶の湯・Why & Because」  
表千家 南 美鈴 様
- 閉会 「点鐘」

## ■卓話予告

5/9 「春のRYLAについて」RYLA実行委員会  
井川孝三委員長 ・ 田中康正副委員長

## 会長の時間

本日は大勢のビジターがお見えです。まずは本日の卓話をして頂きます日本熊森協会の名誉会長森田真理子様、この後よろしくお願ひします。興味深いテーマです。楽しみにしております。また金光八尾高校の前田裕子先生ようこそお越し頂きました。

それから越中八尾RCから岡本会長始め会員の皆様、50周年式典の参加のお礼と言う事で、遠路はるばるお越し頂き、有難う御座います。また昨夜は歓迎会に参加頂き、楽しい時間を過ごさせていただきました。例会後すぐに帰路につかれるということですが、それまでごゆっくりなさって下さい。

最後になりますが今月から新しい米山奨学生の、マクドナルド・マリさんが例会に参加して頂いています。今回からゲスト、お客様と言うニュアンスではなく、もっとクラブに馴染んで頂く為に、親睦委員会にも参加して頂きたいと考えています。宜しく御願ひします。

さて本日の会長の時間は、少し春のRYLAセミナーの報告をしたいと考えています。

開催まで残り2週間となりました。準備の方も着々と進んでおります。この時期に着々と言うのもいかなものかと思ひますが、登録の方がやっと受講者の数が集まり、地区役員の参加者や、他クラブの参加人数が確定してきております。

受講者の参加が50名と、近年最高の人数になりそうです。ロータリアンの登録も330名を超える登録を頂き、予算も予定通りに進めそうです。人数が多いとそれだけ神経を使ひますが、また今回は会場が高槻と堺の2会場になりますのでそれだけ大変なことも多く、現在設営の準備やプログラムの作成

と大詰めの段階です。

実行委員会立ち上げ時期から、クラブ全体事業として取り組んできております。どうか皆様の一層のご協力をよろしくお願いし、会長の時間を終わります。

## 幹事報告

▼14日にIM第4組のロータリーデーが開催されました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。また松井会員には、壇上で発表をしていただきました。

▼居相会員のアベル様が、今年度の文部科学大臣表彰で科学技術賞を受賞されました。

▼春のRYLAの宿泊や食事の数を確定したいと思います。回覧しますので、ご記入ください。

▼本日、越中八尾RC様からお土産でいただきましたお菓子をお配りしております。

## 越中八尾RCより

▼越中八尾RC・

益山和之・村井豊久・岡本雅憲・中尾孝秀会員



先月に開催しました当クラブ50周年記念式典では、八尾RC様から菅野会長をはじめ多数の皆様へ遠路はるばるお越しいただき、ありがとうございました。

長らくの間お付き合いをいただき、親睦を深めさせていただくことができました。皆様の熱い友情に感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

## 米山奨学生の紹介

▼坂本 憲治・カウンセラー

今年度から当クラブでお世話するマクドナルド・ミカエリ・マリさんです。通称ミキさんです。

ニューヨーク出身で現在、大阪日本語教育センターで学ばれています。

▼マクドナルド・ミカエリ・マリさん

去年の4月に来日したばかりで、まだ日本語が上手く話せませんが、これからよろしくお願いいたします。



## ロータリーの友紹介

▼クラブ広報委員会・相馬 康人 副委員長

今月は母子健康月間です。表紙も、これにちなんだイラストが掲載されています。

RI会長メッセージは「地球にはロータリーが必要」ということで述べられています。

特集記事はポリオ撲滅とメイクアップのすすめで、大きなクラブでのメイクアップ事情が紹介されています。

講演記録は書家の金澤祥子さんのお母さんのお話がまとめられています。

## その他の報告

▼RYLA実行委員会・田中 康正 副委員長

28～30日に、当クラブがホストを務める春のRYLAが開催されます。受講生は現在51名で、近年では最高の人数に達しています。

ロータリーパパをお願いしている皆様には体調にご留意いただき、当日に臨んでいただくようお願いいたします。

クラブの重要事業ですので、一人でも多くのご参加、ご協力をお願いいたします。初日は9時に関西大学の高槻キャンパスに集合です。

▼澁谷 登志和・次年度幹事

本日例会後、第2回のクラブ協議会を開催します。

▼ゴルフ部・小谷 逸朗 部長

5日に四輪会を開催し、曾家会員が初参加で初優勝をされました。おめでとうございます。

## 卓話

▼一般財団法人 森山 まり子 名誉会長



本日はこのような機会をいただき、大変うれしく思っています。私たちは、森を残し、全生物と共存しなければ、人間も生き残れないと考えております。熊だけの保護団体ではなく、クマやサルなどの大型動物、キツネやタヌキといった中型動物、ウサギなどの小型動物、そしてさらに小

さいバクテリアなどまで、すべての生き物がつくる森を、次の世代にそっくり残していこうと活動しています。

皆さんは「原生林」というものをご覧になったことがおありでしょうか。原生林は、人間が手入れをしなくても、野生動物たちが育ててくれているのです。

たとえば動物たちがドングリを食べる際、木の上に枝を残すことで植木屋さんの仕事をしてくれるのです。こうした営みを、一体として残していこうと考えています。

奥山を残していこうと呼びかけています。「里山」には、自然は残されていません。これは人間が手を加えて、作り替えた人工林です。人工のものである以上、手を入れ続けしないと維持していくことはできません。しかしだんだんと人が入らなくなり、荒廃していきました。

奥山に人間は入ってはいけなく、とされてきましたが、戦後になって入っていったのです。しかし安い輸入材が入ってきて、国産の材木は競争できず、需要も減っていききました。最近も土砂崩れなどで、大きな被害が全国各地で発生しています。こうして崩れているのは、すべて人工林なのです。

人工林から自然の森に再生していくのは「国の仕事ではないのですか？」とよく言われるのですが、林野庁も戦後の政策の間違いをわかっていながら、拡大造林政策を転換できないのが実情です。では誰がこの問題に立ち向かうのか。民間しかない、ということで立ち上がりました。

RCでは16年前に、兵庫県の第2680地区で講演させていただいたことがあります。このとき話を聞いてくださったロータリーの方々が講演終了後「協会の会員になりたい」と押し寄せてくれました。

ふつう、一般の人に話をしてもなかなか会員にまではなってくれないのでビックリしたのですが、経営者の多いロータリーの皆さんは即、判断ができる方々なのだと感じました。

今では学会まで立ち上げて研究してきたのですが、原生林にまで戻すのは、なかなか難しいのが実情です。

科学技術が進んでも、人間は自然がないと生きられない存在です。我々は「自然に生かされている」ということが、わからなくなってきたと感じます。

皆さんが毎日飲むお水は琵琶湖から来っていますが、それは元をたどれば山からの湧き水なのです。「皆さんが毎日水を飲むことができるのは、森が残っているからです」

と話したら、若いお母さんたちに驚かれたこともあります。

その森が豊かかどうかをどう判断するかといえば、豊かな森なら「必ずクマが住んでいる」ということが言えます。そしてそこには、噴き出すように水が湧いているはずですが、クマは体が大きいから、森が荒れるとすぐにいなくなってしまうのです。

そこで「クマが生き残ることができる森をつくれれば、自動的にすべての生き物が生きていける」と考え、活動しています。

「そんなことをしなくても、海水を淡水化できるじゃないか」というお話もありますが、海水をどんどん淡水化してしまえば、残った海水の塩分濃度が上がってしまうばかりです。それでは自然界のバランスが崩れてしまいます。

私は「人間はダメな存在だ」とずっと思ってきました。中学校で理科を教えていたのですが、あるとき「兵庫県のツキノワグマ絶滅寸前」という記事を生徒たちに紹介しました。クマが出没したら、迷惑だから殺してしまう、という話に、子どもたちは胸を痛めました。そしていろんな感想を寄せてくれました。やがて子どもたちは、署名運動まで始めたのです。なぜそこまでするのかと聞いたら、彼らは「自分たちが行き残りたいから」と答えたのです。

そんな子どもたちの姿を見て私は「大人は、本当は子どもに愛情がないのではないか」と疑いはじめたのです。人間とは高い目標があれば、頑張れるものです。他者を助ける志なら、不思議な力が湧き出してくるのです。子どもたちはどんどん勉強して、成長していってくれました。

人間があまり勝手なことばかりすると、自然はしっぺ返しをします。山崩れ、洪水などの災害が発生します。私たちは今、山を買い取って自然に戻しています。こうした活動を広めていくためには、国民の奥山再生の意思表示が必要です。皆様もぜひ、会員になってください。

最後にマザー・テレサの言葉で締めくくります。「愛は言葉ではなく、行動である」。

## 二 コ ニ コ 箱

▼菅野会長 森田まり子様本日卓話よろしく。前田先生ようこそお越し下さいました。越中八尾の皆様お疲れ様です。米山奨学生のマクドナルド ミカエラ マリ様これからもよろしく。

▼宇野副会長 森山様、卓話楽しみにしています。

## 今後の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 (休会)	3	4	5	6
7	8	9 理事会	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	青少年奉仕月間		

5月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6 新旧合同理事会	7	8	9	10
11	12	13 新旧合同クラブ協議会	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 国際大会(~27日) カナダ・トロント	24
25	26	27 年度最終例会	28	29	30	

6月  
ロータリー親睦活動月間

▼長竹幹事 越中八尾の皆様、遠いところありがとうございます。

▼佐野会員 居相様、文部科学大臣賞で受賞お祝い申し上げます。

▼中島会員 ご夫人誕生日。

▼居相会員 良い事が有りました。有難うございました。

▼坂本会員 米山奨学生米国ニューヨーク出身マクドナルド ミカエラ マリ様をよろしくお願ひ致します。

▼池尻会員 越中八尾の皆様、ようこそおいで下さいました。ごゆっくりして下さい。

▼寺坂会員 IM欠席お詫び。

▼中川(将)・小林・奥谷・山陰会員 例会欠席お詫び。

▼山本(勝)会員 越中八尾RC岡本会長、益山さん、村井様、中尾様ようこそ。米山奨学生マリさんよろしくお願ひ致します。ご夫人誕生日。

▼川田会員 越中八尾RCの皆様ようこそお越し下さいました。ごゆっくりなさって下さい。

▼吉本会員 相馬会員、次年度委員会では、お世話

になりました。

▼田中会員 今井様、先日の春のBBS研修、大変お世話になり、ありがとうございました。本日卓話宜しくお願ひします。前田先生ようこそいらっしゃいました。楽しんで行って下さい。

▼濱岡会員 越中八尾の皆様、ようこそおいで下さり、誠に有難うございます。お帰りはお気を付けて下さい。

▼津田会員 いつもニコニコご協力有難うございます。

▼松井会員 先日のIMでは、熱いご声援ありがとうございました。

▼澁谷会員 越中八尾RCの皆様、ようこそ。

▼野村会員 越中八尾の皆様、ようこそいらっしゃいました。作日も、楽しかったです。前田先生ようこそ。

▼兎林会員 越中八尾RCの皆さんいらっしゃいませ。

▼西村会員 年次表彰有難うございます。ロータリーデーお疲れ様でした。

▼藤田会員 福田さん、幡田さんありがとうございました。

▼平尾会員 入会させて頂き、これからもよろしくお願ひします。

## 出席報告

月日	会員数	出席	うち出席規定 適用免除者	出席率	メーク アップ	確定 出席率
4/4	58	42	9	84.00%	1	86.00%
4/14	58	28	4	62.22%		
4/18	58	42	11	80.77%		

